

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor	実務 経験
特別講義(経営)経営史	共通	2年生・前期	2単位	選択	加来 祥男	
履修の前提条件	とくになし。しかし、勉強するという気持ちで受講することは大事である。					
授業概要 (Course Outline)						
18世紀後半から19世紀初頭にかけてのイギリス産業革命を起点とする資本主義経済の発展を視野のうちに収めながら、そうした発展の機動力となった企業の発展のありかたと仕組みを解説する。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					
	数量的スキル Mathematics					
	情報リテラシー Information Literacy					
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					○
	問題解決力 Problem Solving					
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy					
	自己管理能力 Self-management					
	チームワーク Teamwork					
	リーダーシップ Leadership					
	倫理観 Ethical Sense					
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					○
	生涯学習力 Lifelong Learning					○
到達目標 (Objectives)						
到達目標としては、まず、資本主義企業の発展と類型、その仕組みを理解することがあげられる。しかし、大事なことは、単に企業についての知識を得ることだけではなく企業の仕組みを通して経済社会そのものの動き、さらに遡って私たちの生活にとってそれが持っている意味を1つ1つ考えていくことである。						
事前学習の内容	次回の授業で何が問題とされるのかを考えてみる。					
事後学習の内容	授業で取り上げられた問題点をもう一度整理して理解を確認する。					
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)						
授業は担当者による講義を中心に展開されるが、そのなかで出てくる問題点については受講者との質問と回答による討議形式を取り入れる。また、毎回の講義については、理解度を確認するために、要約や質問のレポートを書いてもらう。						
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)						
授業時に随時受け付ける。						
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について						
学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。						

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	特別講義(経営)経営史の課題と目標		
第2回	企業をどう捉えるか		
第3回	資本主義企業と20世紀巨大企業		
第4回	産業革命と工場制度		
第5回	第2次産業革命		
第6回	巨大企業の生産システム		
第7回	巨大企業の編成		
第8回	巨大企業の組織		
第9回	中間的なまとめ		
第10回	雇用の意味—その経済的な性格		
第11回	労働力の類型と雇用		
第12回	労働力構成とその変化		
第13回	巨大企業の雇用システム(1)		
第14回	巨大企業の雇用システム(2)		
第15回	定期試験		
第16回	講義重点の復習と確認		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
授業時に資料を配布する。			
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
授業時にその都度指示する。			
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
<p>基本的には試験による。但し、授業の理解度を確認するために書いてもらうレポートを参考にする。また、授業態度も評価の対象に加える。</p>			

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor	実務 経験
特別講義(経営)産業社会論	共通	2年生・後期	2単位	選択	坂上 宏	
履修の前提条件	①社会思想について関心を持っていること②下記の参考書に目を通しておくこと ※禁止事項:私語。正当な理由のない遅刻、許可のない入退室。携帯電話の使用。その他指定する事項。					
授業概要 (Course Outline)						
フェルディナンド・テンニースとマックス・ウェーバーの思想をとりあげて、近代社会の構造的変容と人間性の疎外の問題について考えていきます。授業の前半は、ゲマインシャフトとゲゼルシャフトの特徴について解説します。後半は、近代資本主義とキリスト教プロテスタンティズムの倫理観の関連について解説します。最後に社会における支配の正当性と官僚制について概述します。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					
	数量的スキル Mathematics					
	情報リテラシー Information Literacy					
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					
	問題解決力 Problem Solving					
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy					○
	自己管理能力 Self-management					
	チームワーク Teamwork					
	リーダーシップ Leadership					
	倫理観 Ethical Sense					○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					○
生涯学習力 Lifelong Learning						
到達目標 (Objectives)						
この授業の目標は次の二つです。第一にテンニースの所説を通じて、ゲマインシャフト(共同社会)とゲゼルシャフト(利益社会)の特徴、およびそれぞれの社会において人間はどのような存在として位置づけられているか、そして人間同士を結びつけるのは何であるか、という点について理解できるようになること。第二にウェーバーの所説を通じて、資本主義社会の精神的土台となった禁欲的合理主義について、そして官僚制の特徴と官僚制社会における人間のあり方について理解できるようになること。						
事前学習の内容	配布プリントや参考書を読んで次の授業の概要を把握し、疑問点などを明確にしておくこと。					
事後学習の内容	配布プリント、ノート、参考書などを読んで、授業の内容について理解を深めておくこと。					
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)						
対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します。 毎回の授業の終わりにコメントカードの作成・提出をお願いします。感じたことや意見などを自由に書いてください。						
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)						
連絡、問い合わせ、相談等は研究室(363)およびメール(sakagami@kiis.ac.jp)にて随時受け付けます。						
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について						
学習の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。						

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	授業の方針など、テンニースとウェーバーの思想について概要紹介:プリント1		
第2回	テンニースの思想①(合理主義と歴史主義の総合、社会発展論):プリント2		
第3回	テンニースの思想②(本質的概念、生活の区分、本質意志と選択意志、社会の発展段階):プリント3		
第4回	テンニースの思想③(ゲマインシャフトの形態:支配と服従、享楽と労働、三つの発展段階):プリント4		
第5回	テンニースの思想④(ゲマインシャフト的意志と精神):プリント5		
第6回	テンニースの思想⑤(ゲゼルシャフトにおける個人、活動範囲、交換と価値、労働):プリント6		
第7回	テンニースの思想⑥(ゲゼルシャフトにおける労働と資本主義の思想、集団の成立と発展、法人):プリント7		
第8回	テンニースの思想⑦(ゲゼルシャフト的な法秩序:自然法としての協約、市民社会:競争と同盟):プリント8		
第9回	テンニースの思想⑧(世界市場、家経済から商業経済へ、農業から工業へ、都市と人間の運命):プリント9		
第10回	テンニースの思想⑨(庶民大衆の衰退と死)、ウェーバーの思想①(なぜヨーロッパに資本主義が生み出されたか):プリント10		
第11回	ウェーバーの思想②(資本主義の倫理観、合理主義、世俗内禁欲と職業):プリント11		
第12回	ウェーバーの思想③(救済の思想:二重予定説と禁欲):プリント12		
第13回	ウェーバーの思想④(職業労働と神の栄光、職業召命観、利得):プリント13		
第14回	ウェーバーの思想⑤(支配の正当性):プリント14		
第15回	ウェーバーの思想⑥(近代的官僚制の特徴と将来、時代の宿命と人間の覚悟):プリント15		
第16回	定期試験、ポートフォリオ作成等		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
プリント配布			
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
『ゲマインシャフトとゲゼルシャフト上下』	テンニース	岩波文庫	4003420713, 4003400000
『資本主義の精神とプロテスタンティズムの倫理』	ウェーバー		4003420934
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
<p>成績評価の方法:試験90%。平常点10%(毎回の授業コメントカードの提出、「科目別履修確認チェック表」の提出)。</p> <p>成績評価の基準:①ゲマインシャフトについて、特に個人と集団の関係、産業の特徴などについて理解しているか。②ゲゼルシャフトについて、特に個人と集団の関係、産業の特徴、交換と価値の意味、労働のあり方、都市と人間のあり方などについて理解しているか。③資本主義の精神について、特に合理主義、世俗内禁欲と職業召命観などについて理解しているか。④支配の正当性と官僚制の特徴、官僚制社会の将来と人間のあり方について理解しているか。</p>			